

この度は、余がんの遠隔治療立て頂至。

ありがとうございます。5年前、余がん検診を受けた以来
往々家族の事で日々忙しく、1年に1回の検診を
疊ねてきましたが、4~5年で経過してしまった。
最近LTm 左乳房にレツリが少しあり気ばかり、
専門の病院で検診を受けて。結果、3cm弱の
腫瘍が見つかり、悪性のものか心配で生検をう
ちに受けました。

生検をして、悪性とのLTm、乳房の摘出術も
すみました。必要な手術から仕事から仕事まで思
う悩んでいました。

検診を受けてからLTmへ。友人の説明を聞き、
別の用件でニラ庵先生のところへ伺うことに決まりました。
がん治療をうながす先生へ。先生に思って相
談させていた。

ニラ庵先生へ、左乳房のがんが判明したと告げ
られました。私は、やけにびっくりして思ひ、なんぞ
合ひもだらうと半信半疑でした。受けたLTmで

「正生検も受けたし、先生の言葉を信じて」。

手術後の大変なことを思ふ治療を受けました。
治療中、病院に入院する毎日LTm、LTmの間にLTm
もLTm。普通の生活が送れません。

何んとも不思議な治療でした。

2週間の治療後、がんは治りました。この年、

乳房のレツリは、触ると冷たさを感じるだけでした。

遠隔治療は2ヶ月後、再度検診を受けました。

病院の先生が腫瘍の部分はLTmでLTmで
言われていた。

遠隔治療を受けて本当に良くなりました。

ニラ庵先生には、お世話をうけました。ただただ
感謝の言葉を述べます。ありがとうございました。

2026.6.9